

令和2年第1回（3月）富田林市議会定例会の報告について

質問者	質問の要旨	資料/担当課
<p>大阪維新の会・ 無会派の会 代表質問 京谷 精久 議員</p>	<p>3. 「子育てするなら富田林」を一層推進について。</p> <p>(1) 市立幼稚園・保育所のあり方について、施政方針には「現在運営する全ての園で未就園児クラスを市事業として週5日開催に充実し、午後5時までの預かり時間延長、給食を試行する」とあるが、「全ての園」で実施する理由について。</p> <p>①各幼稚園ごとに現時点で見込んでいるニーズと照らし合わせた際に、全ての園で実施することについて必要性、効率性、効果性、妥当性の観点から説明を求める。</p> <p>②「2年連続で1学年あたり1桁しか入園希望者がいない場合は、翌年度の募集の際に次の募集が無い旨を伝えた上で募集する」という先例により休園となった園との整合性について。</p> <p>③統廃合を行わずに新たな取り組みを行うことによって生じる直接的な経費や潜在的な機会損失等について、具体的にどのように考えているのか。 ※白紙撤回する前の「市立幼稚園・保育所のあり方基本方針（素案）」の場合と比較して、どの程度費用が増えるのかについても問う。</p> <p>(2) 施政方針での「集団保育の観点から必要に応じ合同保育を行うため園から園へのバス送迎を実施します」という発言について。</p> <p>①具体的にどのような手法を検討しているのか。</p> <p>②「集団保育」の適正規模について、本市はどのように考えているのか。</p> <p>③一定数の統廃合を前提とした上で実施を検討するべきではなかったのか。</p> <p>(3) 施政方針で示された取り組みを実施することにより、「市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」の策定が事実上先送りとなることについて。</p> <p>①取り組みによって見込める効果と、先送りすることによって予見される影響についてどのように考えているのか。</p> <p>②市立幼稚園が本来果たすべき公的役割（私立幼稚園では担いにくい役割）について、本市はどのように考えているのか。</p> <p>③将来的には1園への集約が必要だと考える。集約した際に一定の規模を保つためにも、もっと早い段階で統廃合を含む抜本的な対策を実施する必要があったと考えるが見解を求める。</p>	<p>資料1/ 教育指導室 こども未来室</p>
<p>ふるさと富田林 代表質問 坂口 真紀 議員</p>	<p>(4) 学校施設の統廃合について。</p> <p>①本市は学校の統廃合についてどのように考えているのか。</p> <p>②義務教育学校や公立小中一貫校の設置を検討してはどうか。</p> <p>1. 発達障がい児の支援の在り方について</p> <p>(4) 保育所等訪問支援事業の受け入れについて</p> <p>(5) つながるファイルの活用について</p> <p>2. 学校図書館の充実について</p> <p>(1) 図書検索システム導入について</p> <p>(2) 学校図書館教育支援員から学校司書へ</p> <p>(3) 学校図書館教育支援員の待遇改善について</p>	<p>資料3/ 教育指導室</p> <p>資料4/ 教育指導室 教育総務課</p>

令和元年第3回（12月）富田林市議会定例会の報告について

質問者	質 問 の 要 旨	資料/担当課
公明党 代表質問 高山 裕次 議員	4. 「子育てするなら富田林」を一層推進 (1) 不登校・いじめ対策について ①不登校の対応状況について ②相談窓口等の周知について ③いじめへの早期発見と早期解決に向けた取り組みについて	資料 5/ 教育指導室
	5. 人とまちがにぎわう元気なふるさと富田林を創る (3) 富田林の貴重な歴史資産である富田林寺内町地区の保全について ①空き家の現状と課題について ②大型町家の空き家を展示施設にするなどの有効活用について ③富田林寺内町も含めた、本市文化財保存活用地域計画の策定と今後の展望について	資料 6/ 文化財課
とんだばやし未来 代表質問 尾崎 哲哉 議員	4. 学校を拠点とした地域づくり (1) 学校を地域に開放し、全ての世代で支え合う地域づくり (2) 地域の連携で子どもの安全確保 (3) 学校を防犯・防災の拠点に (4) 施政方針の「学校施設等の有効活用」の内容・目的・効果について (5) (仮称) ふれあいランチの実施について	資料 7/ 教育指導室 教育総務課 学校給食課 危機管理室 総務課
	6. 観光行政について (4) 重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた他の自治体との連携について	資料 8/ 文化財課
日本共産党 代表質問 田平 まゆみ 議員	3. 子育て支援策の充実について (1) 市立幼稚園での3年保育、預かり時間延長、「給食体験」の試行、バスの運行の方針について聞く ①市立幼稚園すべての園で実施するのか ②そのための人員配置と資格要件についての計画は ③今後のスケジュールと、3年保育についての募集時期と、開始時期は	資料 9/ 教育指導室 こども未来室
	4. 教育現場に深刻な問題を生んでいる評価育成システム、評価の賃金への反映、授業アンケートの評価への連動を早急に廃止することをもとめて (1) 授業アンケートをはじめとするアンケートについて ①市内の小中学校において、どのようなアンケートが実施されているのか ②その配布・回収経路は ③それぞれ、何を目的として行われているのか ④アンケート結果は教員本人への授業評価も含めて、今後の改善に活かすために閲覧することができるのか ⑤アンケート結果が賃金査定にどのように影響しているのか ⑥賃金に関わることに児童・生徒や保護者を巻き込むことはやめるべき、市の見解を聞く	資料 10/ 教育指導室

令和元年第3回（12月）富田林市議会定例会の報告について

質問者	質 問 の 要 旨	資料/担当課
日本共産党 代表質問 田平 まゆみ 議員	4. 教育現場に深刻な問題を生んでいる評価育成システム、評価の賃金への反映、授業アンケートの評価への連動を早急に廃止することをもとめて (2) 本市の評価育成システムの具体的な状況について ①各評価段階別の教員割合の推移（上位・下位評価者割合の推移） ②誰が校長・教頭・教員の賃金を決める評価者となっているのか ③どのように評価育成システムが実施され、賃金への反映はどうなっているか ④評価された本人が自分の評価への情報開示や説明をもとめることは可能か、苦情申請は可能か、苦情申請者が不利益な扱いを受けない保証はあるのか ⑤苦情申請は何件程度あったか (3) 今後、この評価育成システム、賃金リンク、授業アンケートの評価へのリンクは本市でも廃止することを強くもとめるが市の見解と府への要望状況を聞く	資料 10/ 教育指導室
	5. 文化財行政の充実について (1) 市の文化財保護条例制定後、現在までの文化財保護審議会の活動経過と今後の方向性、市指定文化財の指定の今後のスケジュールは (2) 「新堂廃寺跡・オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳」を史跡公園とする保存活用計画策定について ①以前からの経過と現状、今後について ②府所有の土地について、無償貸与など交渉を進めるべきでは (3) 埋蔵文化センターなどについて ①設置条例や規則などはあるか ②公共施設として市民に開かれた施設との位置づけは ③施設について、空調管理などの設備、保管スペースの空き状況や、人員の配置状況の現状と課題は ④小学校の空き余裕教室など、あちこちに散らばっている文化財・歴史資料について、どこに何があるといったリスト化はされているのか、状況を聞く (4) 郷土資料館の設置をもとめる ①給食センターの跡地などに設置してはどうか ②富田林市の物産品を販売する道の駅のような施設併設も ③歴史・文化の発信拠点となり、市民の共有財産として、いつでも気軽に行ける郷土資料館の設置について、市の見解を	資料 11/ 文化財課 行政管理課
自由民主党 代表質問 南方 泉 議員	2. 子育てするなら富田林を一層推進の各項目について (1) 3歳児保育・バス運用・給食・未就園児クラス・預かり時間等について	資料 12/ 教育指導室 こども未来室
	(2) 教育・子どもたちの心のケアとフリースクールについて	資料 13/ 教育指導室